

かわまちづくり

河口から水源地まで様々な姿を見せる河川とそれに繋がるまちを活性化するため、地域の景観、歴史、文化及び観光基盤などの「資源」や地域の創意に富んだ「知恵」を活かし、市町村、民間事業者及び地元住民と河川管理者の連携の下、河川空間とまち空間が融合した良好な空間形成を目指す。(令和3年度末時点:244地区)

ソフト施策による支援

- ・都市・地域再生等利用区域の指定等による民間事業者等のオープンカフェ等への河川空間の多様な利活用の促進
- ・優良事例に関する情報提供や必要な調査等により、計画の実現を支援

都市・地域再生等利用区域の指定の適用事例



遊歩道の民間活用
(道頓堀川/大阪市)



オープンカフェの設置
(京橋川/広島市)

先進的な取組の情報提供



民間事業者の参加
(信濃川/新潟市)



賑わい拠点の整備
(木曾川/美濃加茂市)

ハード施策による支援

- ・治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理用通路や親水護岸等の施設整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。(市町村、民間事業者が河川空間の利用施設を整備)



河川管理用通路の利用
(最上川/長井市)



親水護岸の利用
(新町川/徳島市)

荒川下流河川事務所管内 かわまちづくり登録箇所

東京都江戸川区：階段式護岸整備

【整備前】



【整備後】



国民体育大会ボート競技の様子（平成25年）

人が水辺に近づけ、街と河川の一体性が向上されるよう、階段式護岸の整備を実施（平成21～25年）。



レガッタ教室の様子

東京都足立区：桜堤整備

【整備前】



【整備後】



よみがえった五色桜

国土交通省による側帯の整備と足立区による桜の植樹等を行い、桜堤の整備を実施（平成21～29年）。



五色桜まつり

東京都足立区：アクセススロープ整備

【整備前】



都民ゴルフ場として利用



【整備後】



整備された「新田わくわく水辺広場」



整備されたアクセススロープ

国土交通省によるアクセススロープ整備と足立区による河川敷公園・駐車場整備により、河川敷の利便性向上を行った（平成21～29年）。

東京都北区：志茂橋架け替え

【整備前】



【整備後】



整備された新志茂橋



整備された芝桜

国土交通省による志茂橋（河川敷への避難橋）の耐震性と安全性の向上のため、架け替え整備と北区による芝桜整備を実施（平成21～25年）。

荒川下流河川事務所管内 かわまちづくり登録箇所

東京都板橋区：連絡通路整備

【整備前】



新河岸陸上競技場と荒川堤防を連絡通路で結ぶことにより、普段の利活用促進を図るとともに洪水時の避難経路を確保（令和4～6年予定）。

【整備予定】



連絡通路のイメージ

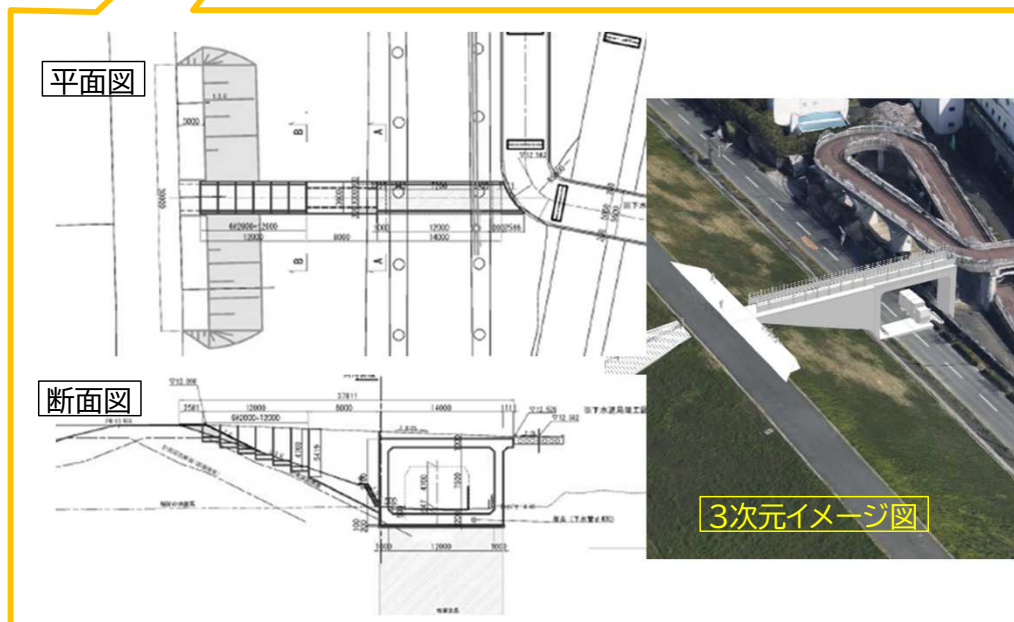


プロムナード（遊歩道）のイメージ



<整備イメージ(連絡通路、階段)>

<利活用イメージ>

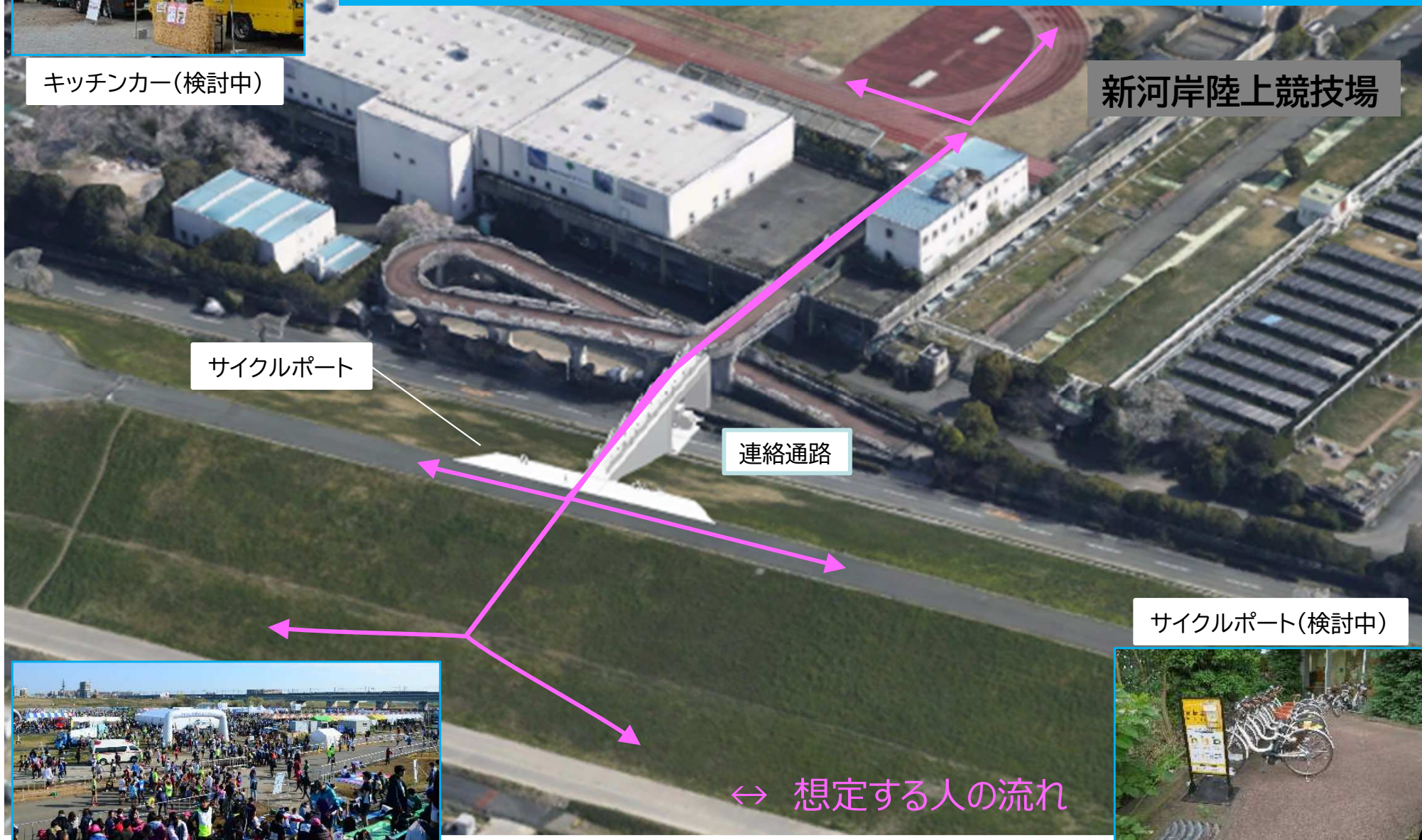




キッチンカー(検討中)

<平常時の賑わいの流れ>

陸上競技場と広大な河川敷を連絡通路で結び、陸上競技場の施設を活用可能とすることで、利便性の向上、新たな利用者拡大を目指します。



新河岸陸上競技場

サイクルポート

連絡通路

サイクルポート(検討中)

⇔ 想定する人の流れ



<災害時の人の流れ>

陸上競技場と河川堤防を連絡通路で結ぶことで、緊急避難場所である陸上競技場から、高い位置で移動が可能となり、上下流への避難を可能にします。

